

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	教材のレベルが本校生徒に適合しており、教科・科目の到達目標を達成するのに適当な内容となっている。また、学習しやすいよう構成されており、語句の説明も丁寧である。
	地理歴史	記載内容・レベルが本校に適合しており、表現が的確である。
	公民	記載内容・レベルが本校に適合しており、表現が的確である。
	数学	記載内容・レベルが本校に適合しており、表現が的確である。
	理科	記載内容・レベルが本校に適合しており、表現が的確である。
	保健体育	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文、表現等が正確である。
	芸術	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が本校生徒の実態に合っている。また、本文、表現等が正確で使いやすい。
	外国語	程度が生徒の実態に即し、適当である。また、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	家庭	程度が本校生徒の実態に即し、適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連づけも適切である。
	情報	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文、表現等が正確である。
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文、表現等が正確である。
	水産	
	家庭	程度が本校生徒の実態に即し、適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連づけも適切である。
	看護	
	情報	
	福祉	